

令和 6 度 農福連携に関する意見交換会

【日 時】令和 6 年 8 月 13 日 (火) 13:30~14:00

【開催方法】ZOOM アプリを用いたオンライン

【参加者】ライトハウス、わかば、滝の園、いすわん、ハローワーク名瀬、あまみなかぼつ、ぴあリンク奄美

合計 7 名

【意見交換】(進行/記録:ぴあリンク奄美)

○行政機関との連携について

- ・農福連携推進チーム会に参加し、意見などを伝えているが、「担当部署が違うので」と、言われる等、農福連携の為に事業を使おうとしているのに、関心を示していないように感じる。せめて、担当部署につなぐなどの動きをしてもらいたい。
- ・一部、やる気のある行政担当もいるが、現状ではあまり動いているとは感じられない。できれば一緒に動いてくれる姿勢を示していただきたい。
- ・事業所側が動くのはもちろんだが、日々の支援や作業に追われてタイミングを逃してしまうことも多い。補助事業などについて、聞きに行かないと教えてもらえないこともあるため、積極的に情報を流してほしい。
- ・行政機関に補助事業や助成金などについて問い合わせても返事が返ってこないこともある。
- ・現在物価高騰で、農業資材なども高騰しているため、補助もあるが、金額が小さく、申請の手間を考えるとあまり期待が持てない。
- ・農振地区ではいろいろと展開できなくて困っている。全国的には 500 平米未満の転用について、全国的な事例も出てきており、その資料をもって行政と交渉したが、許可を貰えなかったため、考えていた一つの事業を行えなかった。
- ・他の事業を考えているが、その申請をするために境界線を引いてほしいと依頼しても行政は以前に行っているといって動いてくれない。自費でするには、大きな金額がかかる。
- ・他にもいろいろな問題があり、その都度相談しているが、できないという現状があれば、それで終わりという風に、一緒に考えたりしてもらえないと感じる。
- ・奄美はフルーツばかりを作っているが、その他にも産地化できる作物はあると思う。北から南まで統一した作物ができれば、トン数も大きくなり、島外に出荷できるようなブランドができるのではないかな。
- ・野菜については、島外に出荷するのが難しいとも感じているので、島内の企業と連携して、地産地消をすすめることも考える。
- ・行政の行う支援と、事業所の求めている支援に関する考え方に乖離があるように思う。行政担当と事業所が直接、意見交換できる場は必要。

